

令和4年度 短大 春夏期科目 授業評価アンケート結果（1年生）

科目名	担当教員	受講者数	回答者数	回答率	意欲的に取組	身に着けた実感	シラバスどおり	分かり易い	教科書資料等適切	難易度 (難→1)	総合的に満足	担当教員の意見
簿記基礎	石垣	40	31	78%	4.4	4.4	4.4	4.2	4.5	2.7	4.3	簿記検定の内容で、2限連続の授業ということもあり、1日(2回分)で覚える量が多く、難易度が高いと感じてしまうと思います。検定試験に準拠するため難易度を変えることができませんが改善を考えます。
農学概論	杉山(泰)、佐藤、外側、中野、稲葉、丹羽、杉山(恵)、逢坂、祐森、平岡、松尾、吉村	92	87	95%	4.6	4.7	4.7	4.5	4.6	3.1	4.6	早口で話の内容が聞きにくい講義や専門用語の解説が少ない講義、資料の配布が無かった講義があったようです。説明はゆっくり、はっきり話すよう意識し、新入生でも分かりやすい授業となるよう、改善していきます。
農林業のための科学	松尾、増田、青山、竹内、五十右、中根、杉山、坂口、星川、瀬戸、渡邊	92	75	82%	4.5	4.6	4.5	4.3	4.6	2.9	4.5	授業内容、特に計算問題等については平易で理解しやすい説明になるよう工夫して行きたいと思います。分かりにくかった場合には、授業中はもちろん、授業後の質問も歓迎します。
農林業史	中山	31	25	81%	4.5	4.8	4.8	4.6	4.9	3.0	4.6	プレゼン発表を2回実施した。これが授業において効果的だったと考える学生は多くいたものの、負担に感じた者もいたかもしれない。情報関連の科目と連携を取りつつ、プレゼン準備が効果的になされるように配慮したい。
農林業政策	天野	40	36	90%	4.1	4.2	4.6	3.9	4.6	2.3	4.0	一部で少し難しいという意見がありましたので、さらに工夫をしていきたいと思います。ただ、皆さんもわからない点については積極的に質問する、自分で調べるなど心がけてください。
分子生物学	丹羽	93	66	71%	4.2	4.4	4.6	4.3	4.5	2.8	4.3	講義の最後に実施しているPCR実験と電気泳動の評価が高いので、より分かりやすくなるよう、太田先生や平岡先生、貞弘先生にもお手伝いいただき、きめ細かな指導ができるよう心掛けたい
英語基礎	上田(非常勤)	92	82	89%	4.4	4.5	4.8	4.8	4.8	3.3	4.6	とても意欲的に取り組んでくれる学生が多く、プレゼンテーションもよく頑張ってくれていました。今後も会話練習を中心にしていきつつ、もう少し農業で使っていそうな単語も取り入れていこうと思います。
コミュニケーション論	飯野(非常勤)	91	69	76%	4.2	4.2	4.5	4.1	4.3	2.9	4.2	自分たちが学んでいる専門領域に、コミュニケーションという観点がどう関わってくるのか、その重要性はどこにあるのか。そうした点に留意しながら講義を行いました。今後もその方針で行っていきます。
簿記応用	石垣(非常勤)	17	11	65%	4.3	4.2	4.7	4.2	4.2	2.2	4.4	簿記基礎同様、2限連続の授業ということもあり、1日(2回分)で覚える量が多く、難易度が高いと感じてしまうと思いますが、簿記をより理解してもらえるように改善していきたいです。

令和4年度 短大 春夏期科目 授業評価アンケート結果（1年生） つづき

科目名	担当教員	受講者数	回答者数	回答率	意欲的に取組	身に着けた実感	シラバスどおり	分かり易い	教科書資料等適切	難易度 (難→1)	総合的に満足	担当教員の意見
県内農林業事情	杉山、竹内、近藤、中根、中野、片山、稲葉	40	38	95%	4.5	4.5	4.7	4.3	4.6	3.2	4.4	今後も、県内の農林業について、生産現場の最新の状況が分かる内容とし、コース選択時の参考になるような授業を行っていきます。また、説明の参考となるような動画がある場合はそれを活用し、理解が深まるように工夫していきます。
植物生理生態学	森口	68	47	69%	4.0	4.0	4.3	3.2	3.5	2.2	3.6	高校理科の復讐を基本として、新たな知見も適宜加えているが、難しいようである。講義のポイントを印刷して配布しているが、全てのパワポ資料を印刷して配布するのが良いのか思案している(量的に凄い枚数になると、安心して講義を聞かなくなるのでは)。また、板書では字が小さいとの意見があったが、前方に座席するようにお願いします。
樹木・組織学	平岡	19	16	84%	4.6	4.8	4.9	4.6	4.7	3.1	4.7	樹木についての知識が深まったことや、どのような質問にも答えてくれたことがよかったという意見を多くいただきました。引き続き興味を惹く内容の授業を行っていきたいと思います。授業中に教科書を使用しなかったので購入の必要がないのでは、という意見もありましたが、今後の大学での学修だけでなく、社会人になってからも、知識の再確認やより深い理解をする上で手元にあった方が良く考えます。今後も是非活用して欲しいと思います。
畜産概論	片山	16	11	69%	4.7	4.9	4.7	4.7	4.9	2.9	4.8	この科目は、畜産コースに進む予定の学生さんの導入科目というだけでなく、他のコースに進む学生さんには、農学知識としての内容も盛り込みました。講義中のクイズは、基礎情報として覚えておいて欲しい事項を中心に繰り返し出題して、強く記憶してもらう組立としました。多くの学生に興味を持って頂いたようで良かったです。
総合実習	増田、青山、五十石、中根、中野、山家、坂口、星川、貞弘、大石、瀬戸、太田、吉村、藤代	92	64	70%	4.7	4.8	4.8	4.7	4.7	3.3	4.7	学生の多くの方が、様々な分野の作目等を多岐に渡って学べることを、評価していただいています。作物適期や学習方法につきましても、より理解しやすい授業を目指したいと考えます。

令和4年度 短大 春夏期科目 授業評価アンケート結果（2年生）

科目名	担当教員	受講者数	回答者数	回答率	意欲的に取組	身に着けた実感	シラバスどおり	分かり易い	教科書資料等適切	難易度 (難→1)	総合的に満足	担当教員の意見
大型機械実習 (栽培・野菜①)	長藤	20	9	45%	4.4	4.7	4.4	4.7	4.6	2.8	4.7	難しい課題に意欲的に取り組んでいただき、免許試験も良い結果が出たと思います。引き続き分かりやすい授業を実施していきます。
大型機械実習 (栽培・茶)	長藤	4	0	0%								当授業終了後すぐに茶の実習となりアンケートの回答の機会がなかったかと思えます。授業時間内に回答できるよう配慮したいと思います。
大型機械実習 (畜産)	長藤	11	3	27%	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	2.7	4.3	年度当初からの集中講義でたいへんだったと思います。教科書等は継続使用しますが、教材を工夫してより分かりやすい授業を構成していきます。
圃場実習Ⅱ (畜産・大家畜)	瀬戸・渡邊	9	9	100%	5.0	4.9	4.6	4.9	4.8	3.1	4.4	引き続き受講生が意欲的に取り組める実習環境となるよう取り組みます。実習のボリュームについては、一部再検討しています。実習中の宿舎については、補修すべき個所を事務局と確認し、可能な限り対応しています。
圃場実習Ⅱ (畜産・中小家畜)	青山、片山、大塚	2	0	0%								中小家畜研究センターと連携して、実習環境を整えていきます。今後の参考のためにも、アンケートに回答してください。
企業実習(栽培・野菜②)	稲葉、坂口、増田、中根	20	9	45%	4.9	4.9	4.4	4.8	4.4	3.2	4.8	日頃の学修内容を企業実習に活かせるよう、引き続き取り組みます。
GAP演習(花、果、林)	杉山、坂口、貞弘	34	30	88%	4.7	4.7	4.7	4.8	4.7	3.2	4.7	GAPのことをしっかり理解してくれた学生が多く、担当教員としてやりがいを感じました。今後も、卒業後にGAPを実践したくなるような授業を行っていきます。
マーケティング・販売演習 (花、果、林)	柯、池ヶ谷、前田	34	28	82%	4.6	4.6	4.7	4.6	4.7	3.2	4.5	これからも学生の授業満足度を高めるため、授業の内容は理論に片寄ることなく実践的な能力を育てることに重点を置きたい。
流通加工論	森口	30	16	53%	4.3	4.3	4.5	4.0	4.4	2.9	4.1	活舌が悪い、早口などの指摘があるので、十分に時間をかけて説明を行い理解を深めるように努めたいと思います。
施設園芸	竹内	50	24	48%	4.5	4.7	4.6	4.6	4.8	3.5	4.7	分かり易い、身に着けた実感があるという意見を多くいただきました。一方で、簡単すぎるという意見もありました。引き続き関心を高める授業を意識しつつ、深い内容も少し織り込みたいと思います。

令和4年度 短大 春夏期科目 授業評価アンケート結果（2年生） つづき1

科目名	担当教員	受講者数	回答者数	回答率	意欲的に取組	身に着けた実感	シラバスどおり	分かり易い	教科書資料等適切	難易度(難→1)	総合的に満足	担当教員の意見
木材生産システム	近藤、池田、鶴飼	9	9	100%	3.9	4.3	4.4	4.1	4.3	2.4	4.1	<ul style="list-style-type: none"> ・講義や演習の復習(学修)をしっかり行えば、内容の理解や実務は自ずと身につきます。自らの努力が足りません。進取の姿勢が大事です。 ・授業で『森林総合監理士(フォレスター)基本テキスト』の内容は全てできませんが、将来フォレスターを目指すに当たり、必要な知識が詰まっているテキストを配布することで、自習することを期待しています。授業スピードが速い、もう少しわかりやすい授業をとの要望に対しては、授業で話す内容が減りますが、もう少し的を絞って授業を行うか、検討してみます。 ・配布資料の量については、減量できません。最低限必要な量であり、仕事をするときに増えますので、学生のうちに慣れてもらうために配布しています。授業でも伝えましたが、付箋などを活用し、どこに何が書いてあったのか自分なりの整理方法を学ぶ演習でもあります。※付箋などは自由に使用できるように毎回おいておいたものが、まったく使われなかったことを残念に感じています。 ・プレゼンについては、授業の中でどのような内容のものを求めているのかを伝え、チェックシートも配布しました。また、授業中に質問が難しかった場合、教員の研究室を訪ねたり、メールで質問することは可能だったと思います。実際に数名から事前チェックの相談を受けています。社会に出た際には、わからないことは放置せずに質問することは重要です。是非、今後は積極的に質問や相談することも覚えてください。プレゼンの内容や方法の伝え方は、1期生の時よりもより時間を割きましたが、今後はもう少し時間を割いて丁寧に行っていきます。
大型機械実習(花き・果樹)	長藤	25	12	48%	4.4	4.5	4.2	3.9	3.9	3.4	4.2	やや人数が多かったこともあって、十分な技術的指導ができなかったかもしれません。教材を工夫して分かりやすい授業を構成していきたいともいます。
大型機械実習(林業)	長藤	9	4	44%	4.8	4.8	4.5	4.8	4.3	3.0	4.5	難しい課題に意欲的に取り組んでいただき、こちらからもきめの細かい指導ができたと思います。引き続き分かりやすい授業を構成していきます。
圃場実習Ⅱ(栽培・野菜①)	中根、増田、坂口、大石	20	8	40%	5.0	4.9	4.8	4.9	4.5	3.1	4.8	授業をとおして概ね学生の皆さんが、野菜栽培に関する知識や技術を身に着けることが出来て、よかったです。画像等が不足して、内容が十分に伝わらなかって点については、今後、参考となる動画、画像等を導入して、わかりやすい授業を進めていきたいと思っています。分からないところがあったら、その都度何でも良いので質問してください。
圃場実習Ⅱ(栽培・花き)	五十右、稲葉	10	3	30%	4.7	4.7	4.3	4.3	4.3	3.0	4.7	引き続き県内で生産される主要切花や鉢物の栽培を通じて、実践的な生産技術のポイントを学べるよう取り組みます。
圃場実習Ⅱ(栽培・果樹)	山家	15	9	60%	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	3.7	5.0	今後はどれだけ習熟できたか確認する内容を盛り込んでいこうと思います。

令和4年度 短大 春夏期科目 授業評価アンケート結果（2年生） つづき2

科目名	担当教員	受講者数	回答者数	回答率	意欲的に取組	身に着けた実感	シラバスどおり	分かり易い	教科書資料等適切	難易度(難→1)	総合的に満足	担当教員の意見
演習林実習Ⅱ	鵜飼	9	8	89%	4.0	4.3	3.5	3.8	4.1	2.1	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・課題については、シラバス上、課題の量と内容は記載されていませんし、全30回の授業で授業時間外で行わなければならなかった課題は2つ程度でしたので、課題が多かったとは考えていません。また、シラバス上では、「本授業時間外でチェーンソーの実技実習、原木しいたけの収穫・選別作業、高性能林業機械シミュレータの操作実習等を科す。」と記載していますが、実際には課していませんので、特別に時間外における課題が大量であったとは考えていません。また、即戦力のプロを養成する上で、基本となる技術力や考え方などを身につけるためには、もう少し課題が多くても良いと考えています。一期生と二期生で間で課題の量は違いましたが、授業への取組態度や理解度を見ながら、課題を設定していました。 ・公用車の運転については、基本的には運転手付きのマイクロバスの利用をしますが、やむを得ず教員が運転する時は、交通ルールを順守します。 ・授業のスピードは、中くらいの学力の学生を合わせるようにしています。その都度進捗を確認していますので、学生側からも理解が追い付かない時などは言って欲しかったと思いますし、補助で2～3名の教職員がついていましたので、個別に聞くこともできたのではないかと思います。また、学生側からも「学びに来たのだから、学力レベルが低い学生でなく、ある程度高いレベルで授業を進めて欲しい」との意見もあり、必ずしもすべての学生のスピードには合わせることは困難です。 ・多様な学生がいることへの認識が低かったことは否めませんので、これに対しては謝罪したいと思います。
企業実習(茶)	稲葉、中野	4	1	25%	4.0	4.0	5.0	4.0	4.0	3.0	5.0	日頃の学修内容を企業実習に活かせるよう、引き続き取り組みます。
企業実習(畜産)	稲葉、瀬戸、青山	11	1	9%	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	2.0	4.0	受入経営体が減少している中で、希望に添った研修先の確保に努めていきます。今後の参考のために、アンケートへの回答をお願いします。
GAP演習(野菜)	杉山、坂口、貞弘	40	33	83%	4.6	4.8	4.8	4.6	4.7	3.2	4.8	GAP実践のメリットを理解してくれた学生がとても多く、担当教員としてやりがいを感じました。今後も卒業後にGAPを実践したくなるような授業を行っていきます。
マーケティング・販売演習(野菜)	柯、池ヶ谷、前田	40	22	55%	4.6	4.8	4.8	4.7	4.7	3.1	4.7	これからも学生の授業満足度を高めるため、授業の内容は理論に片寄ることなく実践的な能力を育てることに重点を置きたい。
アグリフードシステム論	菊池	13	3	23%	4.5	4.0	4.0	4.0	4.0	2.3	4.0	第一に回答率が低いので、次回以降の授業で回答を促したい。難易度が高いとの回答があるので、解説や事例などを学生の理解度の高い内容と説明を工夫したい。
木材利用流通論	星川、池田	9	5	56%	4.2	4.2	4.4	4.2	4.2	2.8	4.2	木材について深く学ぶ機会は少ないので、慣れない用語が多く出てきましたが粘り強く学習に取り組んでいただけました。

令和4年度 短大秋期科目 授業評価アンケート結果

1年

R5.3.13 短大全学生へ配信

科目名	担当教員	受講者数	回答者数	回答率	意欲的に取組	身に着けた実感	シラバスどおり	分かり易い	教科書資料等適切	難易度(難→1)	総合的に満足	担当教員の意見
営農と農業関連法	杉山、増田、竹内、五十右、坂口、天野、菊池、前田、横田	39	38	97%	4.5	4.7	4.5	4.3	4.7	2.7	4.4	一部の学生に分かりにくかったようです。全教員、資料を用いて分かりやすく解説しながら進めているつもりですが、分かりにくいところがあった場合は適宜質問してください。また、レポートはWordにしてほしいという意見がありましたが、入社試験の際にはWordは使用できません。このため、この授業ではレポートはあえて手書きで書かせたものを提出させています。
土壌肥料・植物栄養学	稲葉、外側	69	39	57%	4.3	4.3	4.5	4.0	4.4	2.7	4.2	説明が少し難しかったり、聞き取りにくいこともあったようです。わかりやすい説明に務めるとともに、実際の栽培との関連性も加味しながらわかりやすい講義内容としていきます。
植物保護	小澤	68	40	59%	4.5	4.4	4.5	4.3	4.6	2.8	4.4	植物保護は、病害虫・雑草から農薬までと情報量が膨大なうえ、現場では必要な知識が多いため、授業についてくるのが大変だったと思います。実験実習では、ほとんどの学生が、真摯に取り組んでいました。これから現場に出たときに、本科目で習ったり見たりしたことを、思い出して役立ててください。
作物栽培	中根、松尾	36	26	72%	4.0	4.0	4.3	3.9	4.5	2.9	4.1	イネを中心に講義を進めてきましたが、他作物についても、もっと知りたいという意見がありました。今後、豆類、イモ類とを含めて広く作物栽培について授業を進めたいと思います。また、画像や、動画を取り入れることにより、学生の皆さんの理解を深めていきたいと思います。
植物遺伝育種学概論	稲葉、太田	28	19	68%	4.3	4.3	4.5	4.2	4.5	2.3	4.1	昼食後の3、4限と長時間の講義となるので、集中力の維持も大変だったと思います。受講時に集中力が維持できるような授業の構成を考えていきます。
森林計画学	近藤、逢坂、平岡	12	7	58%	4.7	4.7	5.0	4.3	4.7	2.9	4.7	各回異なる測量方法の知識と技術を講義し、演習問題や屋外で簡単な測量を行いました。限られた時間の中でしたが、学生はチームワーク良く、互いに教え合いながら作業したことが理解を助けたと思います。さらにわかりやすい資料の作成を心掛けたいと思います。
造林学	近藤	12	7	58%	4.7	4.6	4.7	4.7	4.7	3.3	4.4	授業が「簡単」、「やや簡単」との評価があった。学生間で理解度が異なるため、平均的な講義とした。就職試験等で内容の深化を求める学生は、配布資料(補助教材)やシラバスに示す参考書等で学修されたい。授業時間外に個別対応する。

飼料総論	片山	11	6	55%	4.3	4.8	4.7	4.3	4.7	2.8	4.5	記憶型の科目のため、教科書どおりに進めると、とても面白くない科目です。そのため関連する情報や理由を説明して印象に残るように心がけ、また食糧問題等、最新の話題も盛り込みました。次年度は、難しい部分は、さらに理解してもらえるように工夫します。
家畜飼養	片山	11	6	55%	4.3	4.8	4.7	4.3	4.5	2.8	4.7	畜産専攻の学生さんが、最も興味を持つ科目と思います。今年度は、教科書にはないコンパニオンアニマルや動物園のアニマルウェルフェアについて、詳しくに解説するとともに、最新の業界紙の情報も盛り込んだので生産現場でも役立つ知識になっていれば、うれしいです。
家畜生理解剖	瀬戸	11	11	100%	4.5	4.8	4.7	4.2	4.6	2.6	4.5	やや難しいという意見が多かったため、同じ内容でも、より分かりやすく説明できるよう工夫します。
食品科学	内藤	25	12	48%	4.3	4.6	4.6	4.5	4.7	3.0	4.7	要望、改善点の意見を見ると、動画での講義を要望する者と、web上へアップしてある講義スライドを紙媒体で求める者とおおり、個々のITSSの差をどのように埋めるべきか次年度へ向けて検討したい。また、「幅広い知識」と「脱線」といった相反する受け取り方はとても参考になる。前述の要望を参考に、興味を持って自身が動画や資料を作って他者へプレゼンするような、能動的学修や評価法を考えたい。
食品加工演習	池ヶ谷	18	16	89%	4.4	4.5	4.7	4.6	4.6	3.2	4.9	授業内容については概ね満足していただけたようで安心しています。来年度からはカリキュラムが変更されますので、同時にさらに内容を充実できるようにしたいと思います。また、アンケートで提案していただいた改善案はさっそく冬季の授業から取り入れました。ご提案ありがとうございました。
アグリフードシステム論	菊池	15	10	67%	4.2	4.2	4.4	4.3	4.6	3.1	4.4	まず、回答率及び総合満足度の2点が前回に比して好転しておるので、この結果の継続を意識して対応したい。難易度が高いとの回答があるが、実務の成果ではより複雑高度化しているのが実態であるので、事例等の解説を学生の認知度の高い内容で説明することで、一層の理解促進に努めたい。

2年

科目名	担当教員	受講者数	回答者数	回答率	意欲的に取組	身に着けた実感	シラバスどおり	分かり易い	教科書資料等適切	難易度 (難→1)	総合的に満足	担当教員の意見
企業実習	稲葉 他 多数	54	20	37%	4.8	4.8	4.5	4.6	4.4	2.7	4.7	日頃の学修内容を企業実習に活かせるように引き続き取り組みます。
大型機械実習	長藤	20	8	40%	5.0	5.0	5.0	4.0	4.9	3.3	4.4	農業機械を安全かつ壊さないように使っていくには、機械の基本的な構造や作動の仕組み、燃料の特性などを知ることと、その機械を使いこなす技術を身に着けることが大切です。より分かりやすい授業になるように、内容と教材の研究を行いたいと思います。
GAP演習	杉山、坂口、 貞弘	15	13	87%	4.5	4.7	4.5	4.5	4.7	3.4	4.6	一部の学生には、GAPの必要性が分かってもらえたようです。今後も卒業後にGAPを実践したくなるような授業を行っていきます。
マーケティング・販売演習	柯、池谷、前 田	15	13	87%	4.4	4.6	4.6	4.5	4.6	3.1	4.4	これからも授業の内容は、実践的な能力を育てることに重点を置き、創意工夫をしながら分かりやすい授業を行っていききたいと考えています。
流通加工論	森口	24	10	42%	3.7	4.3	4.4	4.1	4.3	3.0	4.2	「授業の内容や方法について、授業の難易度は適切でしたか」で、20%の学生が「やや難しい」と回答した。また、「情報量が多く感じるため、一度の講義に話す項目はそれぞれに関連性のあるもので統一するなど工夫してほしい」、「どこが重要か分からないので、要約か重要な所の説明が欲しいです」との意見があった。興味をひかせるべく、講義内容とは直接関係しない雑談を随所に盛り込んだため、焦点がぼやけたことも原因と考えている。雑談を適切に活用するように留意する。
畜産経営演習 (大家畜)	小林、渡邊	4	1	25%	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.0	4.0	小林(16回)新規就農計画の作成演習を行いました。経営計画を具体的に立案するには、畜産についての技術や経営を総合的に理解している必要があります。難しかったことと思います。演習では実際に酪農で新規就農した農大卒業生に来ていただいたり、養鶏経営者からオンラインによるお話を伺うなど、将来畜産に携わる際の貴重な参考になったのではないかと思います。今後とも、将来の就農に役立つ演習にするよう、心掛けたいと思います。青山(10回)受講学生に合わせた視察先の選考に留意します。渡邊(4回)今後ともわかりやすい内容を心がけたいと思います。
畜産経営演習 (中小家畜)	小林、青山	2	1	50%	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	2.0	5.0	

令和4年度 短大冬期、後期及び通年科目 授業評価アンケート結果

1年

科目名	担当教員	受講者数	回答者数	回答率	意欲的に取組	身に着けた実感	シラバスどおり	分かり易い	教科書資料等	難易度(難→1)	総合的に満足	担当教員の意見
農業経営	横田	68	37	54%	4.0	4.1	4.2	3.8	4.1	2.7	3.9	内容的に自分で計算をしてもらうことから、難易度が高いと感じる学生も少なからずいるのは予想どおりでした。数学についての補足を入れながら、理解をしてもらえよう努力したいと思います。
林業経営	近藤	12	8	67%	4.5	4.8	4.8	4.4	4.4	3.1	4.5	講義内容が多岐に及び、学生間で理解度が異なるため、平均的な講義とした。公務員試験等で内容の深化を求める学生は、配布資料(補助教材)やシラバスに示す参考書等で学修されたい。授業時間外に個別対応する。
畜産経営	小林	11	9	82%	3.9	4.4	4.4	3.4	4.3	2.3	4.1	酪農経営のシミュレーション(ファームゲーム)を取り入れ、興味を持ちながら、将来経営を行う上で、最低限必要な知識を取得してもらえようとしたが、経営を行うイメージを持ってもらう工夫をさらに重ねるようにします。
家畜育種繁殖	渡邊	11	9	82%	4.1	4.8	4.7	4.7	4.8	2.9	4.8	家畜繁殖については、模型や実際の器具による説明が良かったという意見を多くいただきました。今後は内容をより精査しつつ、引き続きわかりやすい講義を心がけます。
家畜衛生学	大塚	11	7	64%	4.3	4.9	4.7	4.6	4.6	3.1	4.6	復習時間の評価ありがとうございます。時間配分考えるとともにポイントを絞って、より良いかたちに行きたいと思います。また、生産現場で経験してきた飼養衛生管理に関する話も、今後も時間や内容を考えながら話していきたいと思います。前向きな評価・ご意見ありがとうございました。
畜産法規	小林	10	7	70%	4.0	4.7	4.6	4.0	4.6	3.0	4.3	法規はややもすると条文の解釈に終わり、退屈なものですが、なぜ、何のためにこうした法規が作られたかという背景と、実際の経営への影響や効果を理解できることがポイントです。そのために、学生による発表などをさらに取り入れていきたいと思っています。
英語応用	上田	17	14	82%	4.3	4.6	4.9	4.9	4.8	2.5	4.7	英語基礎よりさらに難しい内容になっていましたが、新しい文法や単語を使って会話をしようと練習をがんばってくれた姿がみられました。今後英語を使う場面になったときに授業で練習したフレーズをどんどん使用して会話を楽しくしてもらいたいと思います。今後もわかりやすい授業を心がけて会話練習中心の授業をしていきたいと思っています。
野生鳥獣管理・利用論	小林	40	27	68%	4.2	4.5	4.5	4.1	4.1	2.9	4.3	野生鳥獣問題は動物学のみならず、社会科学的な理解が肝要であるとの考えの下、授業を行いました。その点がやや難しかったかもしれませんが。狩猟鳥獣についての学生発表や試験問題、罠の実習などを行い、狩猟免許取得を促しましたが、4大生に比べ受験率が低かったのが残念です。

森林土木論 (治山・林道)	逢坂	12	7	58%	4.7	4.7	5.0	4.4	4.4	2.6	4.9	パワーポイントのスライドをそのまま配布するのではなく、説明文章を入れた授業内容の資料と、復習でさらに学習できるように、参考資料を多く配布しました。そのため授業のボリュームが多いと感じたかもしれません。よりわかりやすい授業資料の作成を心掛けたいと思います。
野菜栽培	竹内	39	18	46%	4.6	4.5	4.6	4.6	4.6	3.2	4.6	「農業に携わる上でおさえておかななくてはならない要点がまとめられており、これまで学んだ知識を復習しながら知識の定着を図ることができました」というコメントが大変うれしく感じました。まさにそれをモットーとして授業を進めてきたつもりです。今後もその視点から鋭意努力していきます。
果樹栽培	杉山	15	15	100%	4.5	4.8	4.8	4.7	4.5	2.9	4.5	今年の果樹専攻は熱心に授業を受ける学生が多く、とても授業がやりやすかった印象です。来年度も、果樹栽培の基礎から生産現場の技術まで、最新の情報を伝えていきたいと考えています。
花き栽培	稲葉	8	6	75%	4.8	4.8	4.8	4.3	4.7	2.7	4.5	写真で説明文が隠れてしまった印刷資料があったようです。スライドファイルを作るときに説明内容がきちんと反映できるように配慮します。
圃場実習Ⅰ (野菜)	中根、増田、坂口、大石、吉村	39	18	46%	4.8	4.8	4.7	4.7	4.7	3.2	4.8	概ねすべての学生の皆さんが、授業を通して新しい知識や、技術を習得することが出来てよかったです。一部、授業がやや難しいと感じる学生さんがいます。画像や動画等を取り入れることによってわかりやすい授業を進めていきたいと思っています。わからないことがあったら、その都度質問して、授業の理解を深めましょう。
圃場実習Ⅰ (花き)	五十右、稲葉	8	6	75%	5.0	4.8	4.8	4.8	4.3	3.0	4.8	切花は県内で生産されている主要4品目について、鉢物では主要な鉢花・観葉植物・苗物について、各作目の特徴や栽培管理方法のポイントを学んでもらいました。花きの実習は多品目ですが、各作目の特徴を理解できるよう、わかりやすい実習を心掛けます。
圃場実習Ⅰ (茶)	外側	7	4	57%	4.8	4.8	5.0	5.0	5.0	3.3	5.0	中野准教授が長期不在の中で、技術職員及び学生の皆さんと協力しながら実習を進めてきました。皆さんが身体を動かすのが好きなので助かっています。視察についてはコロナの影響もあり2回しか実施出来なかったのは教員側としても残念です。R5では最低3回は視察に行けたら、と考えています。
圃場実習Ⅰ (果樹)	山家、太田	15	11	73%	4.5	4.7	4.5	4.5	4.4	3.1	4.6	各品目のせん定方法など初めて行う内容は難易度が高かったと思います。持続的な学習で習熟度は高まります。授業での不明点はその都度レポートに記入いただければと思います。
演習林実習Ⅰ	鵜飼、藤代	12	11	92%	4.6	4.9	4.9	4.6	4.9	2.6	4.7	定められた時間の中で、測量、森林調査、伐木造材、原木しいたけ栽培等の技術が習得できるよう、実習時間の配分を再検討し、わかりやすい説明に努めていきます。

圃場実習 I (畜産)	瀬戸、青 山、貞弘	11	8	73%	4.9	4.9	4.6	4.6	4.6	3.4	4.8	予定については、一ヶ月前には通知できるよう工夫します。
静岡学	竹内	93	50	54%	4.6	4.5	4.7	4.4	4.6	2.9	4.4	「静岡学で講話いただいたトップランナーの企業に直接訪れる機会を設けるのもありかと思いましたが、ごもっともです。ただ本授業の中では人数的にも物理的にも不可能ですので、強い要望がありましたら連絡してください。同志を募って別途視察をお願いすることも不可能ではないと思います。
食品加工演習	池ヶ谷	13	13	100%	4.9	5.0	4.9	4.9	4.9	3.4	5.0	授業内容については概ね満足していただけただようで安心しています。授業難度についてはやや簡単と感じた方も多いため、来年からはもう少しレベルの高い内容を組み込むことを検討します。ただ、十分に勉強してくれて期末テストで非常に高い点数をとってくれた学生が多い一方、そうでない学生もいます。難易度の調整は非常に難しいですが、総合的に良い授業となるよう努力します。
木材加工演習	星川	12	10	83%	4.8	5.0	4.9	4.9	4.8	2.9	4.9	部分的ではありますがオリジナルの木工作品の制作としたところを評価いただきました。また、木材加工施設の見学では、社長等に仕事内容や働き方に関する説明もいただいたことで、就職の参考になったとのことご意見をいただきました。評価いただいた内容のように、授業が自分ごとになるような工夫をこれからも取り入れていきたいと思っています。
保健体育	鈴木	92	51	55%	4.4	4.2	4.5	4.3	4.3	3.4	4.3	活動内容として、積極的に取り組む姿勢がみられた。また、常に安全面での注意を払い行っていたことには、学生たちに感謝している。コロナ感染の心配もあり、マスクの着用、種目の制限寒い中での換気など、教育環境としては悪い状況においても楽しく活動してくれたことには学生たちのモチベーションの高さがうかがえる。また、種目等をコロナ感染の予防のため、予定と変更して行ったことには不満もみられたと考える。 行った種目は、ほとんどがこれまでほとんど経験の無い種目であり、楽しめるまで感じられないことがあったと考える。種目の楽しさや技術習得のためのアドバイス等が少なかったと思われる。 目標は、生涯スポーツ活動につなげていくことであり、楽しさだけではなく、創意工夫や個々の特性にあったアドバイスの検討が必要と考える。また、行う種目に魅力を感じられるように内容を改善していくことが重要である。 今年度の本講義は、コロナ対策が続く中での活動であり、また今後も感染対策が必要となる可能性もある。制限の中でも楽しさを味わえる内容を検討し改善していく。
情報処理演習	横田	92	47	51%	4.2	4.3	4.4	4.3	4.4	2.8	4.4	後半には計算や論理的思考をしてもらった課題になるので、難易度が高いと感じる学生が少なからずいるのは予想通りでした。基礎的なことについては、全員が身につけられるようにするのが目標なので、なるべくゆっくり・じっくりと進めていきたいと思っています。

2年

科目名	担当教員	受講者数	回答者数	回答率	意欲的に取組	身に着けた実感	シラバスどおり	分かり易い	教科書資料等	難易度 (難→1)	総合的に満足	担当教員の意見
農と食の健康論	森口、内藤	21	5	24%	4.4	4.4	4.4	4.2	4.2	3.0	4.4	殆どの質問において、「とてもそう思う」と「ややそう思う」で100%となっていた。また、Q6の「授業の内容や方法について、授業の難易度は適切でしたか」については、100%が「ちょうどよい」との回答であった。コメントの書き込はなかったが、今後も理解しやすい講義を心掛ける。
畜産環境・堆肥利用論	片山	11	3	27%	4.7	4.7	4.3	4.7	4.3	2.5	4.3	今年度は、堆肥を資源としてとらえ、地球環境での資源循環の上での重要性や有機質資材としての有用性の解説に力を入れました。畜産業の維持・拡大には欠かせない知識となるので、今後も、難しい内容をやさしく解説するよう心がけます。
環境保全型農業論	小澤、片山	69	33	48%	4.1	4.3	4.4	3.8	4.2	2.9	4.2	地球環境問題に広く関わり情報量が膨大だったため、授業についてくるのが大変だったと思います。時間があれば、もっと丁寧に説明してあげたかったのですが、その点をご理解ください。これから現場に出て、何かの機会に、授業で習った知識を思い出してもらえるとありがたいです。 FAOが主導する、地球規模での「土作り」の重要性を中心に話しましたが、テスト代わりに実施した課題レポートの内容には、とても感心しました。
流通加工論	森口	26	11	42%	4.4	4.4	4.5	4.5	4.2	3.6	4.4	Q5.「授業の内容や方法について、教科書やプリント、画像等が適切に用いられていましたか」において、9.1%の学生が、「全くそう思わない」と回答していた。また、「プリントとスライドの内容がズレていて何ページの内容をやっているか分かりづらかった。」とのコメントがあった。興味をひかせるべく、講義内容とは直接関係しない雑談を随所に盛り込んだため、焦点がぼやけのも一因と考えている。雑談を適切に活用するように留意する。
森林生態学	平岡	9	7	78%	4.4	4.4	4.6	4.4	4.7	3.1	4.1	森林のことがさらに知ることができよかった等の感想を複数いただきました。今後も興味を惹く授業としていきたいと思います。また1日の講義数を1回にして週2回に分けた方が1回の講義に集中できてよいのでは、という意見がありましたので、メリハリのある構成を工夫していきたいと思います。
先端栽培技術	稲葉、松尾	69	31	45%	4.1	4.3	4.4	4.0	4.4	3.0	4.2	説明が聞き取りにくいところがあったようです。なるべくわかりやすい説明に務め、最新の農業技術情報を伝えていこう、改善していきます。
圃場実習Ⅱ(茶)	外側	4	2	50%	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	4.0	5.0	実習、特に「手揉み実習」は全員が「教師補試験」に合格、おめでとうございます。また、春～夏の野外での実習、暑い中での作業お疲れ様でした。大変でしたけど、社会人になってから、経験が活きると思います。

圃場実習Ⅱ (野菜)	中根、増田、坂口、大石	20	6	30%	4.8	4.8	5.0	5.0	4.5	3.5	4.8	野場実習Ⅱになって、作物に分かれて、より専門的な内容の学習が増え、授業が分かりにくいと感じる学生さんが増えました。また、教科書やプリント、画像の利用等が不足していると感じる学生さんもいます。プリント等を配布したり、画像、動画を利用することにより、わかりやすい授業を心掛けて授業の理解度を深めていきたいと思います。わからないことがあったら、その都度質問して授業の理解を深めましょう。
農山村田園 地域公共学	吉村	89	74	83%	4.2	4.5	4.7	4.5	4.6	3.0	4.5	各コース(栽培・林業・畜産)の実習や専門科目への関心が高い学生が多い中で、本科目への関心が低い学生が多かったのではないかと思います。そのような中で毎回の小テストでは、講義内容に対して自らの考えを真剣に考えてくれた学生が想定よりも多くいたことに嬉しさを感じました。講義内容は、農山村の展開過程だけではなく、地域づくり、新規就農、グリーン・ツーリズム、農地の集積・集約など、学生によっては、すぐに活用できるものから、将来、地域のリーダーになった場合に活用できる内容について取り上げたつもりです。これからの農山村地域をよろしく願います。
プロジェクト研究	横田 他 短大 全教員	90	37	41%	4.6	4.6	4.5	4.6	4.6	2.5	4.6	自主性が重視されていることから、他の授業とは大きく異なっており、難易度が高いと感じる学生も多いようです。授業スケジュールがつまっている上に、分野ごとにおかれている環境も違うので、学生に負荷をかけすぎないように教員側が一年間のペース配分をしてあげるべきでしょう。